

# ネイチャーセンターだより



## ホオジロガモ

英名：Goldeneye 学名：*Bucephala clangula*

オスは黒い頭に、嘴の付け根に入る白い斑が特徴的な鳥です。メスは褐色の頭で白い斑はありません。秋から冬にかけて、北の方から渡ってきます。水に潜るのが得意で、活発に潜っては小魚や小動物を捕まえて食べます。また、冬から春にかけて雌の周りにオスが集まり、雌の近くで素早く頭を背中に乗せ、また戻すことを繰り返す「ヘッドスローディスプレイ」と呼ばれる求愛行動をおこないます。根室では、浜松海岸や歯舞、納沙布岬などでよく見ることができます。春国岱からでも、オホーツク海側でたまに姿を見ることができます。

11  
月の  
イベント

## エコツアーフィールドセミナー ～ 風蓮湖の魅力を探るバスツアー～

日時：11月18日(日) 9:00～16:00  
対象：観光事業者20名  
\*旅館・ホテル業、タクシー業等  
参加費：1000円/1人(保険資料代として)  
申込：11月13日(火)まで

春国岱・風蓮湖は2005年にラムサール条約湿地に登録され、根室を代表する観光地となっています。  
根室市から走古丹までをバスで一周し、風蓮湖のこの季節の自然や地形、歴史についてなどエコツアーの事例の1つを紹介します。

# ネイチャーセンターのイベント報告

ネイチャーセンター祭り 10/21

10月21日(日)、ネイチャーセンターのボランティアグループ「スंक」が主催する「ネイチャーセンター祭」が行われ、28名の親子が参加してくださいました。

午前中はネイチャーセンター2階の視聴覚室で「おが粉アート」をおこないました。おが粉アートとは、土台となる木の板に好きな絵を描き、その上に色のついたおが粉をのせて色をつけるものです。参加者は、スंकの方にやり方を教わりながら、思い思いの作品を作っていました。

お昼をはさんで午後は、タンチョウの紙芝居「タンチョウ ルルの大冒険」の上演とネイチャーゲームをおこないました。ネイチャーゲームは野外で実施し、葉っぱを使ってじゃんけんをする葉っぱジャンケンと自然学習林を歩きながら様々なお題の自然を見つけるネイチャービンゴをおこないました。

参加した子どもたちは、プログラムの合間などに展示のスゴロクやパズルなども楽しみ、1日ネイチャーセンターを満喫しているようでした。



おが粉アート作品



紙芝居上演



葉っぱじゃんけん

あなたも風蓮湖・春国岱で活動してみませんか ~フィールドボランティア募集~

## フィールドボランティア説明会 オオハクチョウ調査体験

フィールドボランティアの活動の1つであるオオハクチョウのカウント調査に参加し、実際に調査の手伝いをします。半日の調査体験の後、フィールドボランティア全体の活動について紹介します。どうぞお気軽にご参加ください。

・日時： 11月3日 11月17日 11月25日 各日とも9:00~12:30  
各回とも同じ内容です。

・対象：高校生以上10名

・申込： 10月29日 11月12日 11月20日まで



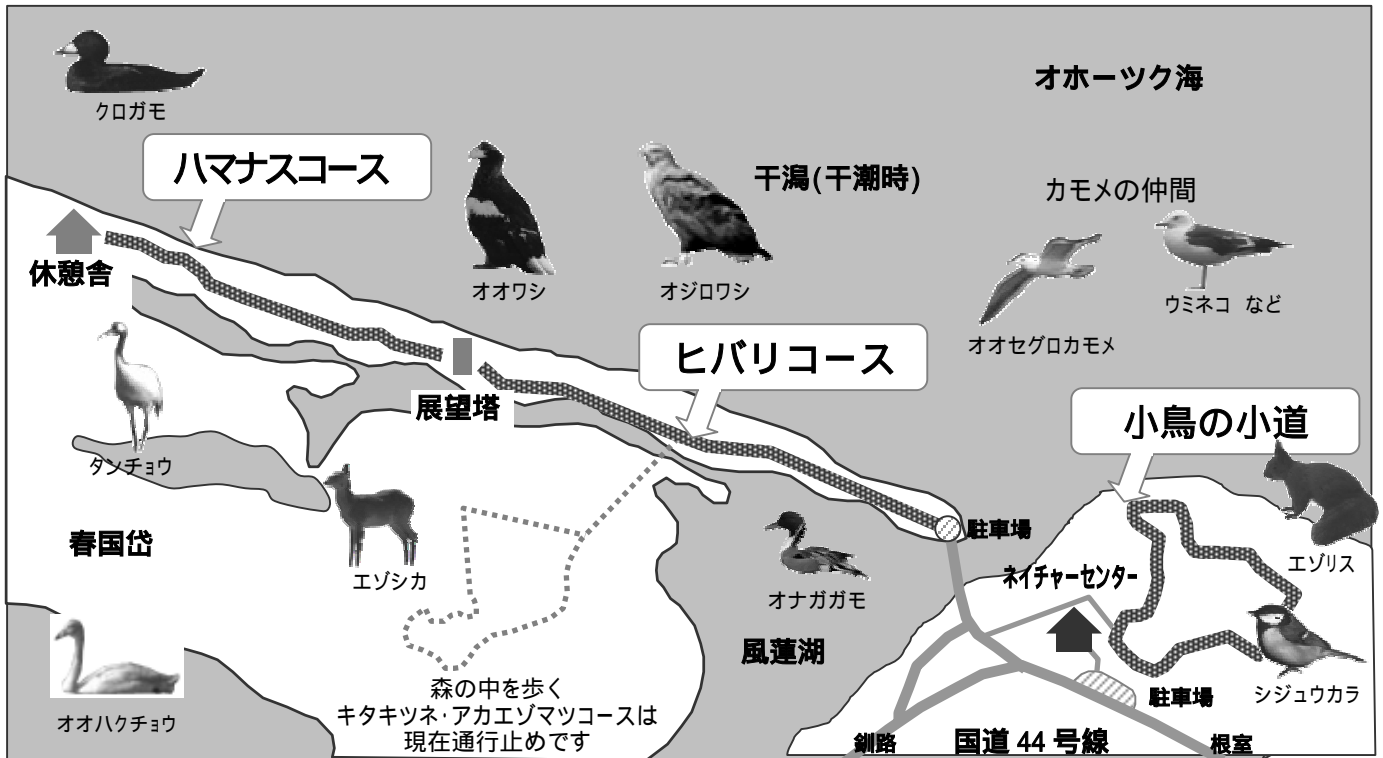
# 11月の自然情報

春国岱の森の中に行く、キタキツネ・アカエゾマツコースは現在通行止めです。

展望塔もご使用いただけません。

浜辺に行く、ヒバリ・ハマナスコースとネイチャーセンター横の小鳥の小道が散策できます。

センターでは、双眼鏡の無料貸し出しをしていますので、お気軽にご利用ください。



観察路がぬかるむ場所があります  
十分注意してください

## ～小鳥の小道～

### カケス

ミズナラのドングリがなるとドングリを求めて、カケスがやってきます。

北海道のカケスは、本州のカケスと違い、模様のない茶色い頭をしています。見た目は美しいカケスですが、鳴き声はギャーギャーという声で、声を聞くとカラスの仲間だということがことが感じられます。



## ～ハマナスコース～

### オオワシ

夏の間、ロシアなど北のほうで過ごしていたオオワシが少しずつ戻ってきました。

これから数が増えていき、多い時には8000羽くらいのオオワシが風蓮湖に集まります。



## ～ハマナスコース～

### クロガモ

沖合いに、群れで泳いでいるものを見ることができます。

オスは嘴の黄色がとても目立つので、遠くからでも見分けることができます。ホオジロガモやコオリガモなどの海ガモも混じっていることがあります。



## ～ヒバリコース～

### カモメの仲間

秋になり、夏の間も風蓮湖に残るオオセグロカモメやウミネコの他に、シロカモメやミツユビカモメなどがやってきています。

大時化の時などは、トウゾクカモメなどが入ることもあります。



# ネイチャーセンター日記

アッケシソウやヤマブドウの葉が赤く染まり秋が深まるなか、風蓮湖には冬を告げるオオハクチョウが渡ってきました。

オオハクチョウは渡りをする鳥で、夏の間はシベリアなど北の方で子育てをしています。そして子育てが終わると、冬を暖かいところで過ごす為、日本に渡ってきます。

風蓮湖には、毎年10月上旬くらにやってきて、11月中旬くらいのピーク時には、およそ4000羽くらいが集まります。そして、風蓮湖が凍り始める12月中旬くらいには、本州へと渡っていきます。

今年は、カウント調査の体験ができますので、ぜひ一緒にオオハクチョウの数をかぞえてみませんか？



## メール配信のお願い

郵送料削減と省資源を目指し、ネイチャーセンターだよりをメール（PDF形式）で配信しています。ご協力下さる方は下記メールアドレスまで、ご自身のアドレスをお知らせ下さい。ご協力お願い致します。（郵送ご希望の方には今後もそのまま郵送いたします。）

連絡先：[nemu\\_nc@marimo.or.jp](mailto:nemu_nc@marimo.or.jp)

また、ネイチャーセンターだよりは、ホームページ上でもPDF形式で公開しています。

ホームページ：[http://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)

## 団体向けプログラムのご案内

野外解説（1～2時間 / 10～20名）

自然のお話（25分 / 10～45名）

自然のクイズラリー（1時間 / 10～50名）

タンチョウのヒミツに迫るタンチョウゲーム（0.5～2時間 / 10～20名）

**事前申込みが必要です。詳細はネイチャーセンターまでお問い合わせください。**

などの野外ガイドは、学校団体・市民団体等にらせていただきます。

住所 〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地  
電話 0153-25-3047 F A X 0153-25-8570  
H P [http://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)  
メール [nemu\\_nc@marimo.or.jp](mailto:nemu_nc@marimo.or.jp)

11月の開館時間  
9:00～16:30  
11月の休館日  
5・7・14・21・26・28

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター